

会員交流会(化学・材料グループ)開催

「知的財産に関する各社の社員(上司含め)の教育」

化学・材料グループの会員交流会が10月9日(於:住友クラブ)に開催されました。7人の参加があり、グループリーダーの河野広明弁理士の司会で標記テーマについて論議されました。企業規模で教育の仕方もさまざま、「教科書に沿った勉強よりも、各企業の実務(その企業のこれまでの知財活動等)を具体的に示した教育が有効」、「社員教育における一つの動機付けとして、知的財産管理技能検定の取得を勧めている」、「経営層への教育はやはり難しく、課題も多い。ただし外部の弁理士等の専門家を通じて経営層への知財の意識付け・説得・教育が有効」等、各社が工夫して取組んでいる内容が意見交換されました。

【次回の予定】 化学・材料グループ:12月11日(水) 9:30~11:30

中国で活躍中の西内盛二弁理士の講演「中国における“化学分野”での実用新案の出願の仕方(工夫)」と座談会形式での質疑応答を予定しています。

なお、電気・機械グループは、11月21日(木) 14:00~17:00に、「中国知財対策」のテーマで議論の予定です。

※ 会員交流会には、いつでも参加できます。ご希望の会員は当協会の事務局にご連絡ください。